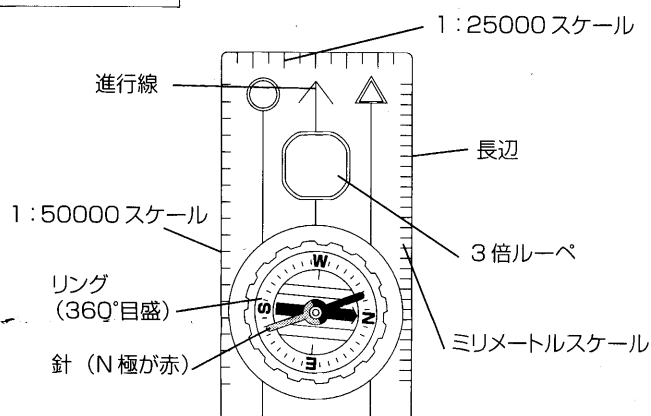


各部の名称



地図の読み方

地図の縮尺により、正確な距離を求めます。1:25000では1kmは4cm、1cmは250mとなります。1:50000では1cmは500mとなります。また、地図上の等高線は、1:25000の地図では1目盛が10mとなっていますので、記号と地形を知れば自分の現在位置と目的地を容易に探すことが出来ます。

使用方法

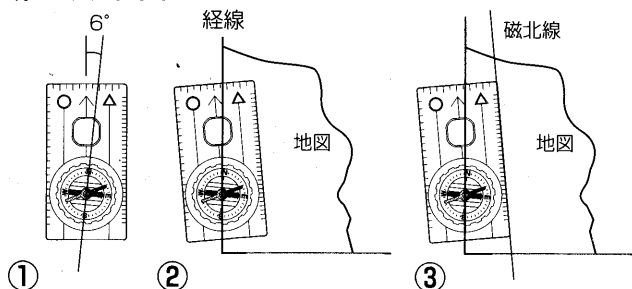
●目的地への方角をセットする

- ①目的地にまっすぐ向いて立ち、コンパスの進行線を目的物に向けて下さい。
- ②胸のあたりでコンパスの中心線を体の中心に合わせて、水平に保持して下さい。
- ③コンパスの向きを動かさないようにリングを回して、リングのNと針のN極（針の赤い方）を合わせて下さい。これでコンパスに目的地への方角がセットされました。
- ④歩き出して目的物が見えなくなっても、リングのNと針のN極が重なっている時に進行線が指す方向に進めば良いのです。但し、目的地に到着するまではセットしたリングを動かさないように注意して下さい。

●磁北線を引く

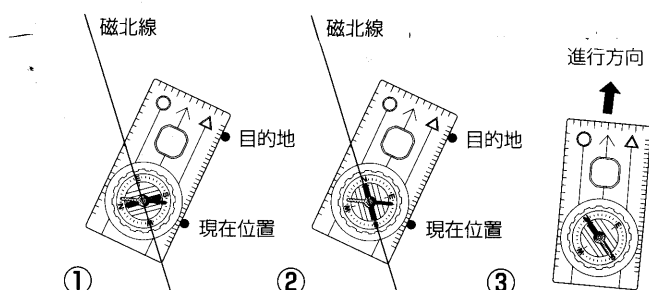
コンパスの指す北を磁北といい、地図上に磁北と平行に記す線を磁北線といいます。日本の場合、磁北線は真北（北極点）に対し5-10°西偏りになっています。これを偏差といいます。この磁北線をあらかじめ地図に引いておくとう方向を間違えずに目的地に行く事が出来ます。

- ①偏差が6°の場合、コンパスのリングを右に回して354°を進行線に合わせて下さい。
- ②地図の左端（もしくは右端）の経線をリングのN-Sに合わせて下さい。その際、地図の北（上方）にNがくるように注意して下さい。
- ③コンパスの長辺に沿って線を引いて下さい。これが、磁北線となります。



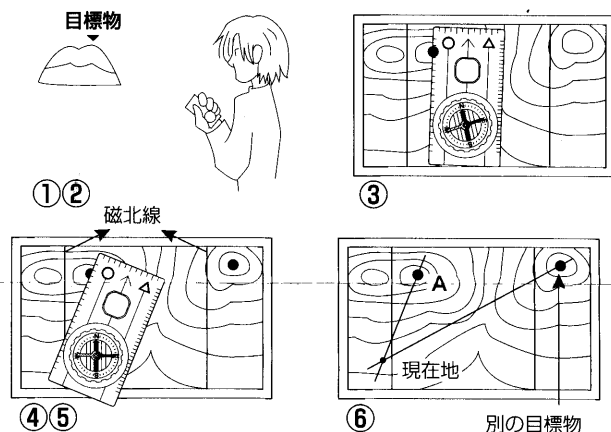
●地図で目的地の方角をセットする

- ①地図上で、現在地と目的地をコンパスの長辺に合わせて下さい。
- ②リングを回して、リングのNを磁北線の北と平行にして下さい。その際、針は無視して下さい。
- ③コンパスを体の前面で水平にして持ち、リングのNと針のN極が重なっている時に進行線が指す方向に進んで下さい。但し、目的地に到着するまではセットしたリングを動かさないように注意して下さい。



●地図から現在地を知る（クロスベアリング）

- ①地図上でその位置を確認できる塔や山を目標物として探しして下さい。
- ②コンパスを体の前面で水平にして持ち、目標物に対して進行線向け、その時の針のN極にリングのNが合うようにリングを回してコンパスをセットして下さい。
- ③セットしたら、そのままリングを動かさないように注意してコンパスを地図の上に置き、長辺の一端を目標物にあてて下さい。その際、針は無視して下さい。
- ④リングのNが磁北線の北と平行になるまで、目標物を軸としてコンパスを回して下さい。
- ⑤平行になったらその長辺に沿って線を引いて下さい。
- ⑥貴方の現在位置はこの線上のどこかということになります。同じことを別の目標物に対して行い、2本の線が交わった点が現在位置となります。
- ⑦現在位置を推定したらすぐに地図上で付近にある目標物を選び、そこに行き確認して下さい。



●バックベアリング

セットされたコンパスで180°逆の方向に進む事を「バックベアリング」といいます。

林の中やまったく見通しのきかない場所に入って、元の場所に戻る時はこの「バックベアリング」を使います。

- ①コンパスは来た時のセット状態のまま、体の前面で水平にして持って下さい。
- ②コンパスの針のS極（針の白い方）がリングのNに重なった時に進行線の指す方向に進んで下さい。